

同志社女子大学 日本語日本文学

第二十二号

目次

- 朝顔・昼顔・夕顔・夜顔……………吉野政治(1)
—— 体系化を目指した花の名 ——
- 『賦光源氏物語詩』を読む(一)……………本間洋一(15)
—— 桐壺・箒木・虚蟬・夕顔 ——
- 『源氏物語』のしぐさ小考……………飯塚ひろみ(33)
—— 「長押におしかかる」「長押に寄りかかる」こと ——
- 『源氏物語』「もろともに」考……………安永美保(51)
—— 紫の上への一対願望を中心に ——
- 『源氏物語』「夜離れ」考……………河村裕美(65)
—— 紫の上の人物造型として ——
- 教室の内外……………吉海直人(77)
—— 『土佐日記』・『枕草子』・『篁物語』・『今昔物語集』の解釈 ——
- 『松花堂芳野道の記』新出写本の紹介と翻刻……………安永美保(97)
吉海直人
- 志賀直哉年譜考(五)……………生井知子(111)
—— 明治三十四年から明治三十六年まで ——
-
- 彙報・執筆者紹介……………(137)
-
- 現代日本語の敬語の機能とポライトネス……………森山由紀子(1)
—— 「上下」の素材敬語と「距離」の聞き手敬語 ——
- 日本語文法研究の主流と傍流……………村木新次郎(21)
—— 単語と単語の分類(品詞)の問題を中心に ——

同志社女子大学

日本語日文学会